

令和5年度第2回湖北圏域地域医療構想調整会議 議事概要

日 時：令和5年9月27日（水） 18:00～19:10

場 所：滋賀県湖北合同庁舎 第1会議室

出席委員：◎森上委員、手操委員、西川委員、西井委員、高折委員、納谷委員、
楠井委員、松岡委員、西山委員、鵜飼委員、横田委員、松岡委員、
嶋村委員 （※ ◎議長）

欠席委員：吉居委員【代理出席：高野看護部長（長浜赤十字病院）】、永田委員、
桐山委員、宇田委員

傍 聴 者：8名

事 務 局：滋賀県長浜保健所

議事の経過概要

開会 18:00

あいさつ 滋賀県長浜保健所長 嶋村

議題

（2）長浜市病院再編方針について

設置要綱第5条第2項の規定により委員以外の意見聴取者として長浜市長が出席し、長浜市長から資料2-1～2-3について説明。概要は以下のとおり。

長浜市長 9月4日の長浜市議会において、長浜市病院再編の4つの方針を表明させていただいた。9月5日には滋賀県知事がこの方針を支持すると表明された。9月12日付けの京都大学医学部長、医学部附属病院長、滋賀医科大学長と医学部附属病院長の連名で署名、押印した文書には、この方針を尊重するとあり、支援いただけることの表明だと考えている。今後は診療科および病院機能の再編と、指定管理者制度の適用を前提とした経営一体化への協議を両輪で進めていく必要があり、湖北地域のみなさんが安心して暮らせる再編を実現できるよう、早急に協議を進めていただきたい。

議長 本会議としても構想の実現に向けて、これまでどおり協力していきたい。

長浜市長の退席後、関連する事項として高折委員から資料2-4について説明された。その後、質疑応答、意見交換が行われた。概要は以下のとおり。

議長 滋賀医科大学の関連病院はもちろん、附属病院も人員不足になっており、すでに業務に支障をきたしていると聞いている。そのような窮状から市立長浜病院長および長浜赤十字病院長あてに要望書が出されたのだと思うが、先生方から

説明をお願いしたい。

委員 要望書は、長浜赤十字病院長と市立長浜病院長あてに滋賀医科大学循環器内科教授から届いたもの。文書を出される前に、それぞれが教授と面談をしているが、その中で、このままでは医師が足りなくなり、大変なことになるので、緊迫感をわかってもらいたいとおっしゃっていた。実際にどうするかは、今後、病院長同士あるいは関係者を含めて相談していくことになる。

委員 市立長浜病院は、心臓血管外科を支えるために循環器内科がどうしても必要。長浜赤十字病院は救命救急センターであり、心臓疾患は一刻を争い、命に係わるため、循環器内科がなくなってしまうのは困る。どちらか一方だけですべてを担うことは、当面の間は困難だろうと考えている。働き方改革で特に問題になるのは夜間および時間外の対応だが、両病院が共同で運用することで負担を軽減することが可能と考えている。そのために、医師の交流などを段階的に進めていく。医師が順調に進めば、次は他のスタッフでもやっていくことを考えている。また、若い医師の研修は両病院において行うことを、あらかじめ大学に了解いただく必要がある。人の手当てを大学にお願いに行くときには、共同して、両病院のことを念頭に置きながらお願いしていきたい。大学から派遣いただいている医師の情報を一元管理することも徐々に始めていかなければいけない。指導的な立場にいる者がお互いに敬意を払い受け入れていこうと、両病院の職員にしっかり伝えていくことが大事だと思っている。大学の意向もあるので、なるべく早い時期に少しでも負担が軽くなるように対応したい。

委員 ステップバイステップで交流を始めていき、最終的には両病院の医師、メディカルスタッフが、どちらに行っても仕事ができる体制を目指している。

議長 両病院の医師の交流など、さらなる協力体制の構築に向けて、具体的な協議が開始されることを期待している。先ほどの長浜市病院再編の方針や京都大学、滋賀医科大学からの文書、さらに滋賀医科大学循環器内科教授からの文書に書かれているように、高度急性期病院の所在地は大戌亥町であると共通認識になったと思う。

委員 指定管理者制度と併せて、大戌亥町の市立長浜病院が継続して存在する形態になることは良いと考える。

議長 今回の会議で共通認識となった。もう1つ、私の出身の医局である循環器内科の教授が焦っておられる。どこも医師が足りないので、病院や地域がどれだけ困ろうが、教授の一存で引き上げられる恐れがある。両病院長には具体的な内容を教授に早く提示できるようにお願いしたい。

委員 長浜市長の4つの方針は、それぞれが一体で進むもの。病院の構造的にも、急に大戌亥町に行くというのは難しい。みなさんと丁寧に議論を重ねていきたい。

議長 後ろに引っ張っていることになる。これはみんなの共通認識である。

委員 長浜市長が表明しているとおり、これらは連動しているものである。

- 委員 この文書を読むと、状況は非常にひっ迫しているのに、長浜市長が指定管理と表明された以上は、交渉に入り、並行して診療科の再編をやらなければいけないと、この会議で共有すべき。我々は非常に焦っているということを、長浜市にももっと感じていただきたい。
- 議長 地元の事情ではなく、大学の都合、教授の一存で問答無用に引き上げる。それが差し迫ったところに来ている。大学もみんなの献身でなんとかやっている。大学も焦っているが、私も焦りがある。
- 委員 私たちも良く理解している。再編を止めようとしているものではない。相談しながら進めていきたい。

(1) 湖北病院及び湖北やすらぎの里施設整備計画について

長浜市立湖北病院より資料1について説明。概要は以下のとおり。

- 委員 当院は医療と介護、福祉サービスを総合的に提供する地域包括ケアシステムの拠点病院として、湖北圏域に必要であると、これまでの本会議で共有いただいているところ。今後は総合診療科を加えて19診療科でやっていく。病床は現在140床であるが、60床の回復期を主とする病棟と60床の慢性期病棟の120床としたい。湖北やすらぎの里は、入所定員を現在の84人から90人に、通所リハビリ定員を現在の10人から20人にそれぞれ増加し、受け入れたいと考えている。今年度は構想計画を立て、医療目標を設定し、来年度は基本設計、実施設計を行い、令和7年度から新病院の新築工事に入りたい。令和9年度にできあがり、その後、別館の老健を改修する形で考えている。プライバシーへの配慮や感染対策のために、全室個室化を考えている。
- 議長 長浜市立湖北病院の病床数を120床とすることについて、合意として良いか。
(異議なし)
合意とさせていただきます。

(3) 滋賀県保健医療計画の改定について

事務局より資料3について説明。意見などは特になし。

(4) 湖北圏域地域医療構想調整会議合同カンファレンスの開催状況について

事務局より資料4について説明。その後、質疑応答、意見交換が行われた。概要は以下のとおり。

- 委員 A病院、B病院のそれぞれの役割を明確にしていく必要があるのではないか。長浜市の行ったタウンミーティングの資料には、A病院、B病院の役割が具体的に記載され、長浜市民に説明された。それをベースにして、早急に決める必要がある。

る。大学からの文書は、再編計画の策定、実行を期待しているから大学として引き続き地域医療を支援するのであり、期待できないのであれば支援できないと読めるのではないか。そのような覚悟を持って、診療科の再編や病院の再編の議論に臨んでいかないと、相当厳しいことがあるのではないか。また、A 病院の役割、B 病院の役割を決めて、両病院の医療従事者が夢を持って議論できるカンファレンスの場が作られると良い。

委員 大学は A 病院の枠組みに興味を持っていると思う。B 病院の枠組みに関して、あまり具体的なことは決まっていないところがあるので、今後しっかり検討していくことは大事だ。

委員 地域医療構想では回復期機能の充実が最も大事な論点であり、B 病院において回復期病棟をいかに構築していくかが非常に重要なポイントである。3 病院と長浜市で今後、早急に取り組まなければいけない。また、急性期の病院を上手に運用するためには、急性期の治療が済めば、回復期に移っていただく必要がある。回復期というのはリハビリであり、リハビリが上手く進まないと、病気は治っても家に帰れば寝たきりということが起こる。それではご家族の介護の手間も重くなってしまふ。関係者が全員で、それぞれのチャンネルで、住民の方に回復期の大事さや、回復期を充実させることで地域の医療が少しでも良くなることを説明いただけるとありがたい。B 病院の機能について、いろいろとアイディアを持っているので、3 病院と長浜市で話を詰めていきたい。また、回復期の考え方は精神科医療についても必要であり、セフィロト病院ともしっかりと協議して構築していきたい。

委員 済生会滋賀県病院と守山市民病院について、済生会滋賀県病院が守山市民病院を指定管理し、済生会滋賀県病院が高度急性期を担い、その後方支援病院を守山市民病院が担うことで win-win の関係になっている。また、それまで守山市民病院は赤字であったが、黒字に転じている。そのようにしっかり役割分担し、最終的に地域に帰っていただくことが大事。高度急性期の医療は人生の中でごくわずかな期間である。旧長浜市街は B 病院、旧伊香郡は湖北病院が回復期を担い、湖北医師会や地域の開業医とともに地域医療を支えていく。みなさまからも市民に啓発していただきたい。

委員 市民が安心できるよう、私たちも A 病院、B 病院、C 病院の具体的でわかりやすいイメージを一緒に作っていきたい。合同カンファレンスについては、医師だけでなく看護師や他の医療スタッフでも同じように進めていただきたい。

閉会 19:10